

これまでの歩み

深沢地域整備事業に関する歩み

- 昭和62年 4月 ・国鉄改革に伴い、ＪＲ東日本鎌倉総合車両センター周辺に約8.1haの国鉄清算事業団用地が誕生
- 平成 6年 2月 ・「湘南地区都市拠点総合整備事業推進協議会」を設立
 - 11月 ・「新しいまちづくりの基本的方向」の提言（鎌倉市深沢地域まちづくり市民懇話会）
- 平成 8年 1月 ・「深沢地域の新しいまちづくりの基本計画（素案）」の提言（深沢まちづくり会議）
 - 3月 ・旧国鉄清算事業団用地の取得を開始
 - 12月 ・市が「深沢地域の新しいまちづくりの基本計画（案）」をまとめる
- 平成10年 4月 ・「湘南地区都市拠点総合整備事業推進協議会」を「湘南地区整備連絡協議会」に改める
- 平成15年 5月 ・ＪＲ鎌倉総合車両センター廃止が明らかとなる
- 平成16年 5月 ・「深沢地域の新しいまちづくり基本計画」の提言（深沢まちづくり協議会）
 - 9月 ・「深沢地域の新しいまちづくり基本計画」を行政計画に位置づける
 - ※まちづくりのテーマを「ウェルネス」とする
- 平成18年 3月 ・ＪＲ鎌倉総合車両センターが廃止となる
 - ・武田薬品工業(株)湘南工場（藤沢市）が山口県光市へ移転
 - 10月 ・武田薬品が湘南工場跡地に新創薬研究所を建設することを発表
- 平成20年 3月 ・『村岡・深沢地区全体整備構想（案）』がまとめられる
 - （村岡・深沢地区全体整備構想検討委員会：国交省、県、藤沢市、鎌倉市、都市再生機構組織）
 - ・旧国鉄清算事業団用地の取得を完了
- 平成21年 6月 ・「深沢地域の新しいまちづくりビジョン」の提言（深沢地区事業推進協議会）
- 平成22年 9月 ・「深沢地区の土地利用計画（案）」の策定（深沢地区事業推進専門委員会）
- 平成25年 5月 ・「鎌倉市深沢地区まちづくりガイドライン（案）」の提言
 - （鎌倉市深沢地区まちづくりガイドライン策定委員会：市民、権利者、学識経験者等組織）
 - 11月 ・都市計画決定手続きの開始
- 平成26年 6月 ・都市計画決定手続きの見合わせ
 - 12月 ・12月市議会において、「鎌倉都市計画深沢地区土地区画整理事業および地区計画の見直しについて」の陳情（採択）
- 平成27年 8月 ・市民の意見や要望を聞くため「深沢地域整備事業のまちづくり意見交換会」を開催（全4回開催）
- 平成28年 3月 ・『村岡・深沢地区総合交通戦略』の策定（湘南地区整備連絡協議会）
- 平成28年10月 ・「深沢地域整備事業の修正土地利用計画（案）」の策定
- 平成29年 6月 ・村岡・深沢地区の広域連携調査を実施
- 平成30年11月 ・「鎌倉市深沢地区まちづくり方針実現化検討委員会」を設置し、コンセプトの深掘りとコンセプトに沿ったまちづくりの実現に向けた検討を開始

- 12月・神奈川県・藤沢市・鎌倉市の3都市で両地区一体のまちづくりと新駅の実現に向けた合意をするとともに、「村岡新駅（仮称）設置協議会」を設立
- 平成31年 1月・「村岡新駅（仮称）設置協議会」からJR東日本に対し、東海道本線への新駅設置及び整備費用の一部負担、新駅の概略設計の実施を要望
- 令和 元年 5月・「村岡・深沢地区のヘルスイノベーション最先端拠点形成に係る連携・協力に関する覚書」（神奈川県、藤沢市、鎌倉市、武田薬品工業（株）、湘南鎌倉総合病院）を締結し、ヘルスイノベーションの最先端拠点の形成等の実現に向け研究を開始
- 令和 元年 8月・「東海道本線大船・藤沢駅間村岡新駅（仮称）及び自由通路設置に伴う概略設計等の実施に関する協定書」（神奈川県、藤沢市、鎌倉市、JR東日本）を締結し、新駅設置に係る概略設計に着手
- 令和 2年 3月・「深沢地域整備事業の土地利用計画（案）」の作成
- 令和 2年 3月・「鎌倉市深沢地区まちづくり方針実現化検討委員会」から、「鎌倉市深沢地区まちづくり方針実現化に向けた検討」の答申を受ける
- 令和 2年 7月・「鎌倉市深沢地区まちづくりガイドライン策定委員会」を設置し、深沢の新しいまちづくりにおけるまち並みや景観のルールを定めるまちづくりガイドラインの策定に向けた検討を開始
- 令和 3年 2月・「東海道本線大船・藤沢駅間村岡新駅（仮称）設置に関する覚書」（神奈川県、藤沢市、鎌倉市、JR東日本）を締結し、新駅を設置することに合意
・「鎌倉市深沢地区まちづくりガイドライン策定委員会」から「鎌倉市深沢地区まちづくりガイドライン基本方針」の答申を受ける
- 令和 3年 3月・藤沢市村岡地区と鎌倉市深沢地区のまちづくりに関する役割分担等を定めた「村岡・深沢地区のまちづくりに関する基本協定」（神奈川県、藤沢市、鎌倉市、独立行政法人都市再生機構）を締結
・藤沢市村岡地区と鎌倉市深沢地区の土地区画整理事業の施行に関し、基本的な方針及び役割分担等を定めた「村岡・深沢土地区画整理事業の施行に関する基本協定」（藤沢市、鎌倉市、独立行政法人都市再生機構）を締結
- 令和 4年 3月・村岡・深沢地区土地区画整理事業等の都市計画決定を告示
・「東海道本線大船・藤沢駅間村岡新駅（仮称）設置及び自由通路整備に関する基本協定書」（神奈川県、藤沢市、鎌倉市、JR東日本）を締結
- 5月・「東海道本線大船・藤沢駅間村岡新駅（仮称）設置に伴う詳細設計等の実施に関する協定書」（神奈川県、藤沢市、鎌倉市、JR東日本）を締結し、新駅設置に係る詳細設計に着手
- 令和 5年 2月・「鎌倉市深沢地区まちづくりガイドライン策定委員会」から「鎌倉市深沢地区まちづくりガイドライン（案）」の答申を受ける
- 令和 5年 3月・藤沢市村岡地区と鎌倉市深沢地区のまちづくりに関する事業内容や役割分担の詳細を定めた「村岡・深沢地区土地区画整理事業の施行に関する実施協定」（藤沢市、鎌倉市、独立行政法人都市再生機構）を締結
- 令和 5年 3月・「村岡・深沢地区土地区画整理事業」について、独立行政法人都市再生機構が国土交通大臣に事業計画認可を申請する

- 令和 5 年 10 月 ・「村岡・深沢地区土地区画整理事業」について、独立行政法人都市再生機構が国土交通大臣から事業計画認可を受ける
- 令和 6 年 1 月 ・「鎌倉市深沢地区まちづくりガイドライン (Ver.1)」の策定
- 令和 6 年 5 月 ・「東海道本線大船・藤沢間村岡新駅 (仮称) 設置に伴う工事等の施行に関する協定書」(神奈川県、藤沢市、鎌倉市、ＪＲ東日本)を締結

※下線は藤沢市村岡地区との両市のまちづくりに関連するもの

※**太字**は協定書等に関連するもの

新駅整備に関する歩み

- 平成 6 年 2 月 ・「湘南地区都市拠点総合整備事業推進協議会」を設立
- 平成 10 年 4 月 ・「湘南地区都市拠点総合整備事業推進協議会」を「湘南地区整備連絡協議会」に改める
- 平成 20 年 3 月 ・『村岡・深沢地区全体整備構想 (案)』がまとめられる
(村岡・深沢地区全体整備構想検討委員会:国交省、県、藤沢市、鎌倉市、都市再生機構組織)
- 平成 28 年 3 月 ・『村岡・深沢地区総合交通戦略』の策定 (湘南地区整備連絡協議会)
- 平成 29 年 6 月 ・村岡・深沢地区の広域連携調査を実施
- 平成 30 年 1 1 月 ・「鎌倉市深沢地区まちづくり方針実現化検討委員会」を設置し、コンセプトの深掘りとコンセプトに沿ったまちづくりの実現に向けた検討を開始
- 1 2 月 ・**神奈川県・藤沢市・鎌倉市の 3 県市で両地区一体のまちづくりと新駅の実現に向けた合意**をするとともに、「村岡新駅 (仮称) 設置協議会」を設立
- 平成 31 年 1 月 ・「村岡新駅 (仮称) 設置協議会」からＪＲ東日本に対し、東海道本線への新駅設置及び整備費用の一部負担、新駅の概略設計の実施を要望
- 令和 元年 8 月 ・「**東海道本線大船駅・藤沢駅間村岡新駅 (仮称) 及び自由通路設置に伴う概略設計等の実施に関する協定書**」(神奈川県、藤沢市、鎌倉市、ＪＲ東日本)を締結し、新駅設置に係る概略設計に着手
- 令和 3 年 2 月 ・「**東海道本線大船・藤沢間村岡新駅 (仮称) 設置に関する覚書**」(神奈川県、藤沢市、鎌倉市、ＪＲ東日本)を締結し、新駅を設置することに合意
- 令和 4 年 3 月 ・村岡・深沢地区土地区画整理事業等の都市計画決定を告示
- ・「**東海道本線大船・藤沢間村岡新駅 (仮称) 設置及び自由通路整備に関する基本協定書**」(神奈川県、藤沢市、鎌倉市、ＪＲ東日本)を締結
- 5 月 ・「**東海道本線大船・藤沢間村岡新駅 (仮称) 設置に伴う詳細設計等の実施に関する協定書**」(神奈川県、藤沢市、鎌倉市、ＪＲ東日本)を締結し、新駅設置に係る詳細設計に着手
- 令和 6 年 5 月 ・「**東海道本線大船・藤沢間村岡新駅 (仮称) 設置に伴う工事等の施行に関する協定書**」(神奈川県、藤沢市、鎌倉市、ＪＲ東日本)を締結

※**太字**は協定書等に関連するもの